

稲沢市観光協会ニュース

INAZAWA TOURISM ASSOCIATION NEWS



いなッピーバス(善光寺)にて



新年のあいさつ

新年明けましておめでとうございます。
平成25年の新春を迎え会員の皆様には心からお喜び申し上げます。

稲沢市観光協会は発足以来8年目を迎えようとしています。稲沢市の観光事業推進に事務局職員共々全力を傾注してまいりましたが、その間会員皆様方の一方向らぬ御協力と御支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年3月には「いなざわ梅まつり」、4月の各地での「桜まつり」と「植木まつり」、6月の「稲沢あじさいまつり」、10月の「稲沢まつり」、11月の「そぶえイチヨウ黄葉まつり」など各季節に応じた稲沢の特色を生かした行事には、市内外から大勢の方々を訪れ、稲沢の自然を楽しんでいただきました。

また、稲沢市の特産物を紹介する事業として「地産地消のおしゃれな料理教室パート3」の開催や「特産品紹介」等により本市の食文化の普及発展を期してまいりました。また、8月から実施いたしました「おすすめグルメシールラリー」や10月下旬から荻須記念美術館で開催されました「ジオルジュ・ルオー展」と併せて協力店舗で実施

しました「コラボメニュー&スイーツ」につきましては、多くの方々に参加していただき有難うございました。

全国に誇れる歴史的・文化的資源の活用を図るため、「稲沢観光ガイドマップ」、「稲沢市観光ガイドブック」、「美濃路ウォーキングマップ」等の領布や、「モニターバスツアー」、「いなッピーバスに乗って観光地を巡ろう」等のイベントを通じて、国府宮神社・稲葉宿跡・荻須記念美術館・国指定重要文化財等を巡りながら稲沢の歴史・文化についての知識、理解を深める活動を進めてまいりました。

本年も、関係機関との連携強化に努め、「第7回いなざわ梅まつり」の開催をはじめ、観光資源の発掘、情報発信の充実を図りながら、多くの皆様にお越しいただけるよう努力してまいりますので、会員の方々を始め、市民の皆様の御支援と御協力をよろしくお願い申し上げますとともに、夢先案内人の「いなッピー」と一緒に、あちこちで皆さんにお逢いできることを楽しみにしながら、新年のごあいさつといたします。

本年もよろしくお願いいたします。



稲沢市観光協会 会長
服部 義逸

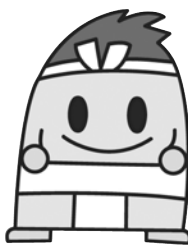


稲沢市のキャッチコピー



稲沢市観光協会 名誉会長
稲沢市長

大野 紀明



マスコットキャラクター
「いなッピー」

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様方におかれましては、平成25年の輝かしい新年をお健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また平素より、市政の各般にわたりまして、御支援と御協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

平成23年3月に発生した東日本大震災は、日本経済に大きな影響を及ぼしました。外国からの観光客も激減するなど一時は深刻な状況となりましたが、現在持ち直してきております。今後は観光事業の強化、経済活動の活性化が望まれております。

稲沢市観光協会では、平成25年3月に「第7回いなざわ梅まつり」を開催しますが、市の祭りとして定着してまいりました。昨年9月に開催した重要文化財や寺社を巡るモニターバスツアーは、大変好評ですぐに定員になり、市民等のニーズを把握した企画をしていただいています。昨年度発行されたおすすめグルメガイドin稲沢は、今まで市内の飲食店を紹介するものが無かったため重宝され、併せておすすめグルメシールラリーは地域商店街の振興にも繋がっております。観光事業の推進は地域を活性化するものであり、今後の事業の展開に御期待申し上げます。

こうした事業を支え、魅力的なものとするため、観光協会のボランティアの活躍は欠かせません。ボランティアの皆様温かいおもてなしの心があって初めて観光客も満足のいく観光ができると思います。今後益々の御活躍をお願いします。

稲沢市では、マスコットキャラクター「いなッピー」が満5歳の誕生日を迎え、特別住民となり、知名度向上のため、また夢先案内人として積極的に活動をしています。昨夏は地域で「いなッピー音頭」を踊っていただき、明るい稲沢に向け貢献できたと思います。また、地元新聞には、東の横綱という番付をいただきました。日頃からの皆様の御支援に感謝申し上げます。

本年も、「安心・安全で元気のある稲沢」を目指し、稲沢市観光協会と連携し、さらに充実した事業を展開するとともに、市民の皆様が誇りと愛着の持てる観光まちづくりの推進に努めてまいりますので、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様方にとって幸多い良き年となりますよう、心から祈念申し上げます、年頭の御挨拶といたします。

謹賀新年

稲沢市観光協会 役員名簿
(一月一日現在)

顧問 杉山 茂和 久保田浩文

相談役 鈴木 純 鈴木 清

名誉会長 大野 紀明

会長 服部 義逸

副会長 眞野 宏男 山田 信行

理事 近藤 修 浅野 忠志

田中 省三 鳥居 正一

山脇 敏夫 林 敬順

児島 秀光 橋本 昭宏

永井 富志雄 石川 高廣

加藤 睦郎 福島 俊治

国立 英夫 川瀬 道船

浅野 博 山田 昌武

金森 信之 松岡 昌功

加藤 久昌 酒井 章治

服部 正見 友松 隆利

橋本 正人 岸 和明

加藤 正見 友松 隆利

松岡 進 酒井 章治

金森 信之 松岡 昌功

浅野 博 山田 昌武

国立 英夫 川瀬 道船

加藤 睦郎 福島 俊治

永井 富志雄 石川 高廣

児島 秀光 橋本 昭宏

山脇 敏夫 林 敬順

田中 省三 鳥居 正一

近藤 修 浅野 忠志

白比野 昭光 山田 信行

眞野 宏男 山田 信行

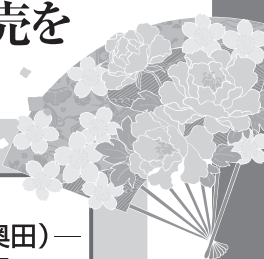
鈴木 純 鈴木 清

大野 紀明

服部 義逸

杉山 茂和 久保田浩文

各種イベントに参加し観光PRと"いなっピーグッズ"や特産品の販売を行い、いずれの会場においても大変好評でした。



モニターバスツアー

～文化財と秋の矢合観音周辺めぐり～

観光協会では、市内の文化財等を皆様にご案内いただくため、国府宮神社をはじめ安楽寺などの重要文化財を巡るモニターバスツアーを計画し参加者を募集したところ、マスコミ等に報道されたこともあり、受付開始から3日間で、市外の30名を含め定員の80名に達しました。

コースの国府宮神社では正式参拝後、神主から通常では聞かれない神社の歴史や「いわくら」の説明を受けることもできました。見学先となった寺院では、ふるさとガイドの会の方々から所蔵の仏像の説明等をしていただくこともできました。また、祐専寺においては、観光ボランティアによる銀杏の試食やイチョウの木の散策・

- 期 日／平成24年9月27日(木)
- 場 所／国府宮神社—萬徳寺—安楽寺(奥田)—性海寺—矢合観音周辺—祐専寺
(国分寺、安楽寺(船橋)、矢合観音、円光禅寺)

説明もあり、いろいろ趣向を凝らしたツアーとなりました。

参加者のアンケート結果では、満足と答えた方が78%、次回も参加したいと答えた方が73%となっており、参加者には大変好評でした。



稲沢サンドフェスタ 2012

今年度もイベント開催を2日間とし、砂像の制作期間(9月22日～10月5日)、展示期間(10月6日～10月14日)に制作の様子や完成品の見学ができるようになりました。

来場者は、イベント開催の両日とも天候に恵まれ、昨年並みの40,000人が来場されました。

会場となりました国営木曾三川公園ワイルドネイチャーブラザ、県営木曾川祖父江緑地、市営祖父江ワイルドネイチャー緑地の3施設の総合愛称として「サリオパーク祖父江」と決定されて、初めてのサンドフェスタでありました。砂像のテーマを「これからのサリオパーク祖父江～飛躍・躍動～」として10作品が制作され、チーム名「いごっそう」の題名「未来の扉」が金賞の栄冠に輝きました。その他のイベントとしては、砂をイメージした大会(サンドアート体験コーナー、ビーチフラッグス)等のほか宝さがし大会、

- 期 日／平成24年10月6日(土)～7日(日)
- 場 所／サリオパーク祖父江

スタンプラリー、飲食店コーナーなどたくさんの催し物が開催され、参加者は夢中になっていました。

また、今年度の「ゆるキャラ@大集合!」では、「いなっピー」を始め近隣の「あいさんさん」、「いちみん」、「きよ丸」など、県外からも愛媛県今治市の「バリさん」、「ねぎっちょ」、「いが☆グリオ」、「えべっちゃん」など26体が出演し、チビっ子達との触れ合いや、記念写真を撮っていました。

観光協会では、観光コーナーを設置し、稲沢市観光ガイドマップや観光チラシ等で観光PR、「いなっピーグッズ」の販売を行いました。金賞「未来の扉」(チーム名/いごっそう)▶



平成24年度 稲沢まつり

今年は、20日(土)・21日(日)の両日とも天気もよく、多数の来場者で賑わい、両日で112,400人の人出がありました。

各会場で行われたイベントなど活気に満ち溢れ、国府宮神社参道の両側には、地元特産品販売などの出店や側道には露店が立ち並びなが行き交う人で賑わいました。中でも園児鼓笛隊パレードに出演した園児の姿を必死に追う両親や祖父母の姿が印象的でした。また、参道屋外ステージでは、大道芸人、K-POPグループや稲沢ご当地アイドルユニット「LOVE♥INA30」などのライブが行われ、稲沢中学校グラウンドでは、ミニSLやふわふわランドにはちびっ子の行列ができ大人気でした。市民会館では、稲沢

- 期 日／平成24年10月20日(土)～21日(日)
- 場 所／国府宮神社参道、稲沢中学校、稲沢市民会館ほか

音楽祭、秋の芸術祭・芸能発表会、ひびき和太鼓まつりなど多彩な催し物が行われました。市民病院では、今回初めて健康チェックコーナー、病院内の見学などが行われ、大変にぎわっていました。

観光協会では、観光ボランティアの協力を得て稲沢市の観光PR、「いなっピーグッズ」の販売を行いました。



ゆるキャラ®まつり in 彦根

～キグるミさみっと 2012～

初日から天候も良く、イベント開催日中で、海外を含め全国各地から彦根市に着ぐるみキャラクター244体が集合し、世界で一番参加キャラ数が多いイベントとなり、2日間の来場者数は、88,000人を越え、メイン会場となっていた夢京橋キャッスルロードは歩くこともままならない状況でした。

観光協会は、市職員とともに稲沢市をPRするため今年も参加しました。PRステージでは、それぞれのご当地キャラクターが地元の自慢を行い、「いなっピー」は稲沢市を大いにアピールしてまいりました。また、「いなっピー」は多くの来場者との写真撮影にも応じ人気を博しておりました。同時に会場で開催された「ゆるキャラ®ふれあい物産展」では、稲沢市の観光パンフレットの配布

- 期 日／平成24年10月20日(土)～21日(日)
- 場 所／彦根中心市街地商店街一帯

や、「いなっピーグッズ」の販売も行い、稲沢市のPRを行ってきました。

また、ゆるキャラ®まつりのサブイベントとして、実施されました「ゆるキャラ®グランプリ2012」は、パソコンや携帯電話からの投票となり、昨年度より約2.5倍の865体のエントリーがあり、約659万票の投票がされました。「いなっピー」の結果は、皆様のご協力により62位となることができました。



第15回そぶえイチョウ黄葉まつり

～日本一の黄金色 眺めてよし、翡翠色の銀杏 食べてよし～

第15回そぶえイチョウ黄葉まつりが、11月23日(金)～12月2日(日)の10日間にわたり開催されました。初日の23日(金)は、あいにくの雨のなか、大野稲沢市長等々の多くの来賓をお迎えし、オープニングセレモニーやイベント・アトラクションなど盛りだくさんの催し物が開催されました。

今年も、テレビ局、ラジオ局、新聞等の報道関係からイチョウの黄葉や銀杏料理などについて、各種番組等に多く取りあげていただいた影響もあり、県内外から交通手段、イチョウ黄葉の見頃についての問い合わせなども頻繁にありました。期間中の、祝日、土曜・日曜日には、イベントも開催され、祐専寺周辺に出展された地元飲食組合のお店や物販店では、観光客でごった返し、農家の人も銀杏の販売に追われていました。

12月2日には、人力車に乗って「イチョウ散策ツアー」や、「和太鼓」の演奏なども開催され大好評でした。

観光協会では、市内外からイチョウ黄葉を見に来ていただいた観光客の方々に稲沢市の観光ガイドマップや、善光寺東海別院、七福神めぐり、荻須記念美術館などのチラシによる観光案内、「い

- 期 日／平成24年11月23日(金・祝)～12月2日(日)
- 場 所／祖父江町体育館会場、山崎会場(祐専寺及び周辺)

なッピーグッズ”の販売をとおして稲沢市のPRも行いました。

今年のイチョウの黄葉は、温暖な気温のため、色づきが遅れておりましたが、まつりが始まった頃から気温が急に冷え込み、まつり開催中が見ごろとなり、山崎会場周辺では黄葉を楽しむ多くの人が訪れていました。



いなッピーバスに乗って観光地を巡ろう!

～秋です。いなッピーバスに乗って、自然の風情と歴史・文化を楽しもう～

観光協会では、市内外の方々に稲沢市の観光スポットを知っていただくため、市内の観光地を回るための巡回バスを1日8便(1時間おき)運行しました。

運行に当たっては、昨年実施のいなッピーバスを参考に、実施時期や乗降場所の選定に際しては、ジョルジュ・ルオー特別展開催中の荻須記念美術館やそぶえイチョウ黄葉まつりの開催期間に併せ、参加費の設定については、各地で行われている1日乗り放題料金を参考に500円として参加者を募集しました。

当日は、風もなく、絶好の行楽日和でした。募集に当たってはマスコミ等の報道もあり、参加者も半数以上が市外からの参加となり、全体で140名の参加があり、バスによっては立ち客が出るほどの盛況でした。

参加者は、観光ボランティアによる案内や観光協会が作成した手作りマップを手に、随所を巡りながら、ちょっぴりプレゼントに協賛していただいたお店などへ立寄りなど、1日楽しく観光地の散策をしていただきました。

アンケート結果を見ても、「満足」と答えた人が64%と多く、また、次回も参加したいとコメントされた方も多数みえ、参加者自身が観光スポットを選択する参画型バスツアーに対する評価もされました。

- 期 日／平成24年11月25日(日)
- コース／市役所 - 荻須記念美術館 - 国府宮駅 - 稲葉宿A - 稲葉宿B - 森上駅 - そぶえイチョウ黄葉まつり会場 - ふれあいの郷 - 刈萱堂 - 善光寺 - 祖父江支所 - 地泉院 - 下水道科学館 - 矢合観音前 - 市役所

また、スタンプラリーにも多数の方が応募され、厳正な抽選の結果、「はッピーいなッピー賞」に溝口さん始め10名、「らっきーいなッピー賞」に木村さん始め10名が当選されましたので、賞品を発送させていただきました。



いなッピーと一緒に稲沢市のPR活動

“いなッピー”と一緒に市内外に出かけ、観光パンフレットによる観光PRや“いなッピーグッズ”の販売を行いました。

全日本小学生ボウリング選手権大会

- 期日／平成24年8月4日(土)
- 場所／稲沢グラウンドボウル
- 参加者数／選手、役員監督等 約250人

第36回ABSジャパンオープン選手権

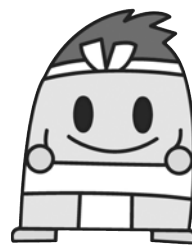
- 期日／平成24年11月10日(土)
- 場所／稲沢グラウンドボウル
- 参加者数／選手、役員等 約1,100人

第7回愛知県市町村対抗駅伝競走大会

- 「愛知ふるさと市」
- 期日／平成24年12月1日(土)
- 場所／愛・地球博記念公園
- 出展ブース／33ブース

ぎなんフェスタ&全国ねぎサミット2012

- 期日／平成24年12月8日(土)・9(日)
- 場所／岐南町総合体育館周辺
- 出展ブース／29ブース



マスコットキャラクター
「いなッピー」

01 天下の奇祭『国府宮はだか祭』

●平成25年2月22日(金) ●場所/尾張大國霊神社(国府宮神社) TEL0587-23-2121
 ●交通/名鉄名古屋本線『国府宮駅』下車 徒歩5分・JR東海道本線『稲沢駅』下車 徒歩15分


「はだか祭」は、正式名称を「儼追神事(なおいしんじ)」と言います。今から約1240年前、奈良時代の神護景雲元年(767年)称徳天皇が、「全国の国分寺に悪疫退散を祈れ」と勅命を発した時、尾張国司が尾張総社である尾張大國霊神社に於いても祈願したのが、儼追神事となって現在まで伝えられています。

旧暦正月13日、はだか祭が行われる国府宮神社一帯は祭りの興奮に包まれます。

祭りは、42歳と25歳の厄年の男を中心に、尾張一円からサラシのフンドシ、白足袋をつけただけの数千人の裸男が、裸になれない老若男女が厄除けの祈願を込めた布(なおいぎれ)を結びつけた「なおい笹」を、裸男が身代わりとして担ぎ込み厄除けを祈願するものです。

また、国府宮神社参道では、神男(しんおとこ)に触れて厄を落とそうと数千人のはだか男がもみ合います。

1



なおいしんじ しめばしらたてしき
儼追神事(はだか祭) 標柱建式

旧暦正月2日午前9時に行われる標柱建式。「儼追神事」と大書された標柱が楼門前に建てられ、祭りの開幕を告げます。

2



なおいにん(しんおとこ) せんていしき
儼負人(神男)選定式

午前10時、志願者を儼追殿に集めてその年の神男を選定。神男は三日三晩、儼追殿にこもり祭りの本番にそなえます。

3



おおかがみもちほうのう
大鏡餅奉納

お供えとして奉納される大鏡餅は、なんと50俵どり(約4トン)という巨大な代物。祭りの前日、神男に迎えられ拝殿へ納められます。

4



なおいしんじ
儼追神事(はだか祭)

旧暦正月13日午後3時過ぎ、神男に触れて厄を落とそうとする裸男たちが神男を待ち構えて揉み合う。そこへ神男がとびこみ、祭りはクライマックスを迎えます。

5



よなおいしんじ
夜儼追神事

深夜の午前3時、厄災をつきこんだ土餅を背負った神男が境外へと追い出されます。そして、神男は途中で土餅をすてて帰宅し、神官はこの餅を地中に埋め、厄災を封じ込めます。

6



おおかがみもちもちきりはじめ
大鏡餅餅切始

旧暦正月14日午前8時からは大鏡餅を切って参拝者に授与。この餅を食べると無病息災で過ごせるとの言い伝えがあり、多くの参拝者が集まります。

◆はだか祭関係行事日程表(平成25年)

月日	時刻	祭典・行事	旧暦月日
2月11日(月)	午前9時	1 なおいしんじしめばしらたてしき 儼追神事標柱建式	正月2日
2月11日(月)	午前10時	2 なおいにん(しんおとこ)せんていしき 儼負人(神男)選定式	正月2日
2月15日(金)	午前9時	おおかがみもちこめあらい 大鏡餅米洗い	正月6日
2月16日(土)	午前5時	おおかがみもちつぎ 大鏡餅搗	正月7日
2月16日(土)	午前9時	くわがたさい 鉞形祭	正月7日
2月19日(火)	午後5時	なおいにん(しんおとこ)さんろう 儼負人(神男)参籠	正月10日
2月20日(水)	午前9時	おおかがみもちかざりつけ 大鏡餅飾付	正月11日
2月20日(水)	午前9時	つちもちつきしんじならびにひふいたため 土餅搗神事並秘符認	正月11日

月日	時刻	祭典・行事	旧暦月日
2月21日(木)	午後1時	3 おおかがみもちほうのう 大鏡餅奉納	正月12日
2月21日(木)	午後7時	ちようやしんじ 庁舎神事	正月12日
2月22日(金)	午後3時	4 なおいしんじ 儼追神事(はだか祭)	正月13日
2月23日(土)	午前3時	5 よなおいしんじ 夜儼追神事	正月14日
2月23日(土)	午前8時	6 おおかがみもちもちきりはじめ 大鏡餅餅切始	正月14日
2月26日(火)	午後7時	まといしんじ 的射神事	正月17日
3月3日(日)	午前9時30分	ちやかい なおい茶会	

稲沢市観光協会会員を募集しています

会費：法人会員 一口5,000円以上 / 個人会員 一口1,000円以上

平成18年8月7日に稲沢市観光協会が設立して、はや8年目を迎えようとしています。会員の皆様方のご理解とご協力によりまして、事業も着実に進んでいるところです。

今後、さらに観光都市として、市内外からのお客様へのおもてなしのため、観光施設や特産品など観光資源の整備はもとより、歴史、文化、景観といった地域観光への体験の機会や、情報発信などの拡充が必要です。

そこで、稲沢市の観光振興を図るため、観光協会の組織基盤の強化と活性化のため、多くの会員の募集をいたします。お知り合いなどで未加入の方がお見えになりましたら、是非、会員への勧誘をお願いいたします。

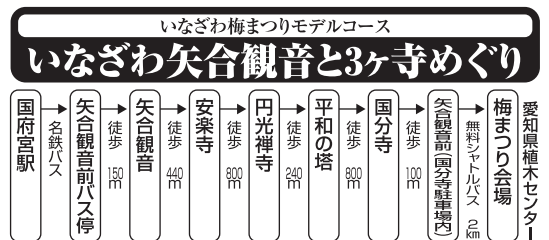
02 第7回いなざわ梅まつり

“みんなでいこまいかあ〜”稲沢へ!!

●平成25年3月2日(土)・3日(日) ●AM9:30~PM4:00
 information ●場所/愛知県植木センター

稲沢市は、全国的に植木、苗木の日本4大生産地の一つとして知られており、植木、苗木の研究・研修機関として愛知県植木センターが開設されています。園内には多種多様な樹木が集められており、四季折々に花が咲いております。とりわけ、梅品種園には104種類、200本余りの梅が植栽されており、全国的にも大変貴重な見本園であり開花時期には多数の見学者で賑わいます。早春に美しい花を咲かせる梅の花を、皆様に堪能していただくため、愛知県植木センターの協力を得まして第7回いなざわ梅まつりを開催します。なお、介助を必要とされる方(車いす利用者等)への見学のお手伝いを旅サポーターがいたします。

イベント内容	日時
写真コンテスト	2月25日(月)~ 応募締切まで
俳句大会	2月25日(月)~3月3日(日) 執務時間中
稲沢市特産品の販売	3月2日(土)~3月3日(日)
抹茶・飲食コーナー	3月2日(土)~3月3日(日)
植木・苗木の販売	3月2日(土)~3月3日(日)
郵便局切手販売	3月2日(土)~3月3日(日)
樹木医による緑化相談	3月2日(土)~3月3日(日)
植木ウォッチング	3月2日(土)~3月3日(日)
竹細工・子供向けコーナー	3月2日(土)~3月3日(日)
尺八と琴の演奏	3月3日(日)
盆梅展・お雛様等	2月27日(水)~3月3日(日)
写真・俳句大会入選者作品展	2月19日(火)~3月3日(日)
愛知県立一宮高等技術専門学校 稲沢校舎総合造園科開放	3月2日(土)~3月3日(日)
健康相談コーナー(血圧・体脂肪測定等)	3月2日(土)~3月3日(日)
いなッピーとあそぼう♪	3月2日(土)~3月3日(日)



03 へいわさくらまつり

●平成25年4月6日(土)
 information ●場所/平和町体育館

《イベント》ステージイベント、飲食コーナー、抽選会など
 平和町には、総延長約2,800メートルを桜並木でつないでいる桜ネックレスがあります。

ここには、八重桜を中心に58種類の里桜1400本が咲き誇り、3月から4月末まで楽しむことができます。



04 稲沢桜まつり

●平成25年4月6日(土)
 information ●場所/国府宮神社参道一帯

《イベント》ステージイベント、茶会、写生大会、飲食コーナーなど
 国府宮神社参道に咲く満開の桜の下で、茶会や演奏会、写生大会などの催しが開かれます。

夜には桜をライトアップし、美しい桜が浮かび上がります。



稲沢市キャンペーン・レディーを募集

市の観光事業やイベントなどを、より一層華やかに盛り上げるため、歴史と文化のまちにふさわしい、理知的で活動的な方を募集します。

募集人員：3名

- 応募資格：① 満18歳から満35歳までの女性
 ② 市、観光協会などの事業に1年間参加できる方
 ③ 親権者、雇用主の承諾を得た方
 ④ 類似した職務の任期中でない方

応募期間：平成25年1月7日(月)~1月31日(木)

応募方法：申込用紙に必要事項を記入し、上半身の写真を添えて、稲沢市観光協会へ

申込用紙：稲沢市(本庁、支所、市民センター)及び観光協会にあります
 面接審査：2月15日(金)

主な業務：観光協会及び市等が開催するイベント、各種行事のPR活動
 任期：平成25年4月1日~平成26年3月31日

- その他：① 日当 9,200円 ② 交通費、食費は支給しません
 ③ 被服、その他装飾品は貸与します
 ④ 勤務中の災害は加入保険の範囲で補償します

問合せ先：稲沢市観光協会 電話 0587-22-1414